

食育事業取組報告書(豊浦中)

食育活動区分	(該当するものを口で囲む) 育てる・作る・食べる・返す	実施年月日	2025年7月1日
教科名	総合的な学習の時間	指導者	食生活改善推進委員10名 教職員
単元名	地域の食材と郷土料理		
ねらい	笹だんご作りを通して、地域の食材と郷土料理の文化について学び、地域の食文化の継承者として、郷土に誇りをもち、郷土を愛する心を育てる。		
	児童・生徒の活動	支援・指導上の留意点	資料
	5月 7日(水) 笹だんご作りの調べ学習 5月13日(火) 食育推進委員による事前学習 よもぎ摘み 6月17日(火) 笹摘み、笹の選別 6月24日(火) 笹巻き、すげ結びの練習 7月 1日(火) 笹だんご作り	・真木山(公園)農薬散布の日程確認 ・食生活改善推進委員への謝礼金の確認 	
成果と課題	地域の食生活改善推進委員の方々が、学校周辺や真木山公園内での笹とよもぎ摘み、材料の下準備から笹だんご作りまで、生徒と一緒に活動していただけることで、とても有意義な活動となっている。地域の食材を生かした郷土の食文化の体験だけでなく、先人の知恵を受け継いできた食生活改善推進委員の方々との交流や共同作業から、地域とのつながりを実施しながら、多くのことを学べる機会となっている。 笹だんご作りに必要なよもぎや笹の自生や生育具合、公園周辺の農薬散布日を避けた日程調整等が必要なため、食生活改善推進委員の方と年度当初に連絡や調整を図れる体制が取れることが望ましい。		
家庭との連携・地域	地域の食生活改善推進委員の方々から、長年に渡り、学校に惜しみないご協力いただいている。経験や知識が豊富で、連携をとることができ大変有り難かった。今後も連携し、地域への愛着や誇りを育む活動を推進していきたい。 家庭との連携については、生徒が作った笹だんごを家庭に持ち帰った際には、「家族に食べてもらい、おいしかったと言われた」と感想を述べる生徒が多く、各家庭で笹だんご作りについて語る機会を設けることができ、また、「地場産物と地域に伝わる料理」の授業の事前学習では、小煮物づくりを各家庭で調べる際に協力をさせていただき、食材や切り方、呼び名などをまとめることができた。		